

物理談話会

(先端物理学・宇宙地球科学輪講)

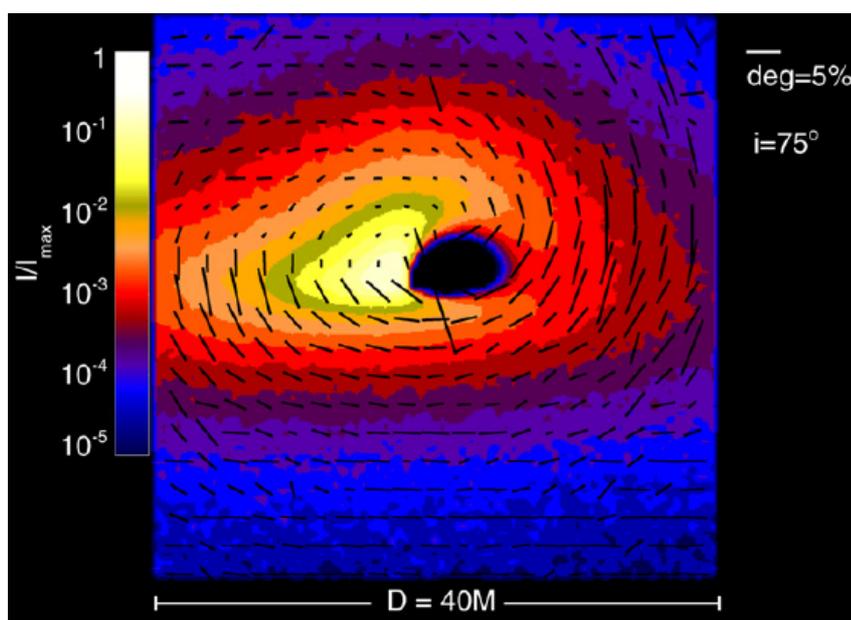
【日時】 1月26日(金) 14:40～16:10

【場所】 大阪大学理学部本館D棟5階(D501)

【発表者】 林田 清 (宇宙地球科学専攻)

【タイトル】 ブラックホールのX線空間分解に向けて

【要旨】 理論上の産物と考えられていたブラックホールが、現実に存在する天体であることを明らかにしたのは、X線天文学最大の成果のひとつである。長年の観測により、様々な質量、環境のブラックホールに関して、その周辺で起こっている物理現象に関する理解はすすんでいる。ただし、現代の観測手段に対してブラックホールはあまりにも小さく、黒い穴の画像を得るまでにはいたっていない。角度分解能の向上という視点からブラックホール観測の歴史、現状、展望を我々が提案するX線干渉計という手段の紹介を交えて解説する。



(図は
Shunitzman
+2010)